

令和7年度第1回未病産業研究会

HITACHI

株式会社 日立システムズ

PHRアプリと未病指標の連携事例 (健康支援サービス (MIRAMED) × 未病指標)

産業・流通事業グループ
本部主管 鴻谷 則和

2025年6月5日

日立システムズについて

HITACHI

- 会社名 : 株式会社 日立システムズ
- 所在地 : 東京都品川区大崎1-2-1（本社）
- 設立年月日 : 1962年10月1日
- 代表者氏名 : 代表取締役 取締役社長 渡邊 岳彦
- 資本金 : 191億62百万円（2024年3月31日現在）
- 従業員（単独） : 10,285名（2024年4月1日現在）
- 売上高（単独） : 4,569億円（2023年度）
- 事業内容 : システム構築事業、システム運用・監視・保守事業
ネットワークサービス事業
情報関連機器・ソフトウェアの販売と開発

■日立システムズの特長

1. 高品質なワンストップサービス
コンサルティング・構築・導入・運用・保守までワンストップでサービスを提供
2. お客さまに密着したサービス体制
日本全国のサービス拠点とITサービスの基盤となるデータセンターを保有
3. 先進のクラウドサービスとグローバル展開
移り変わるITのニーズに応え、お客さまを支えるITサービスを展開

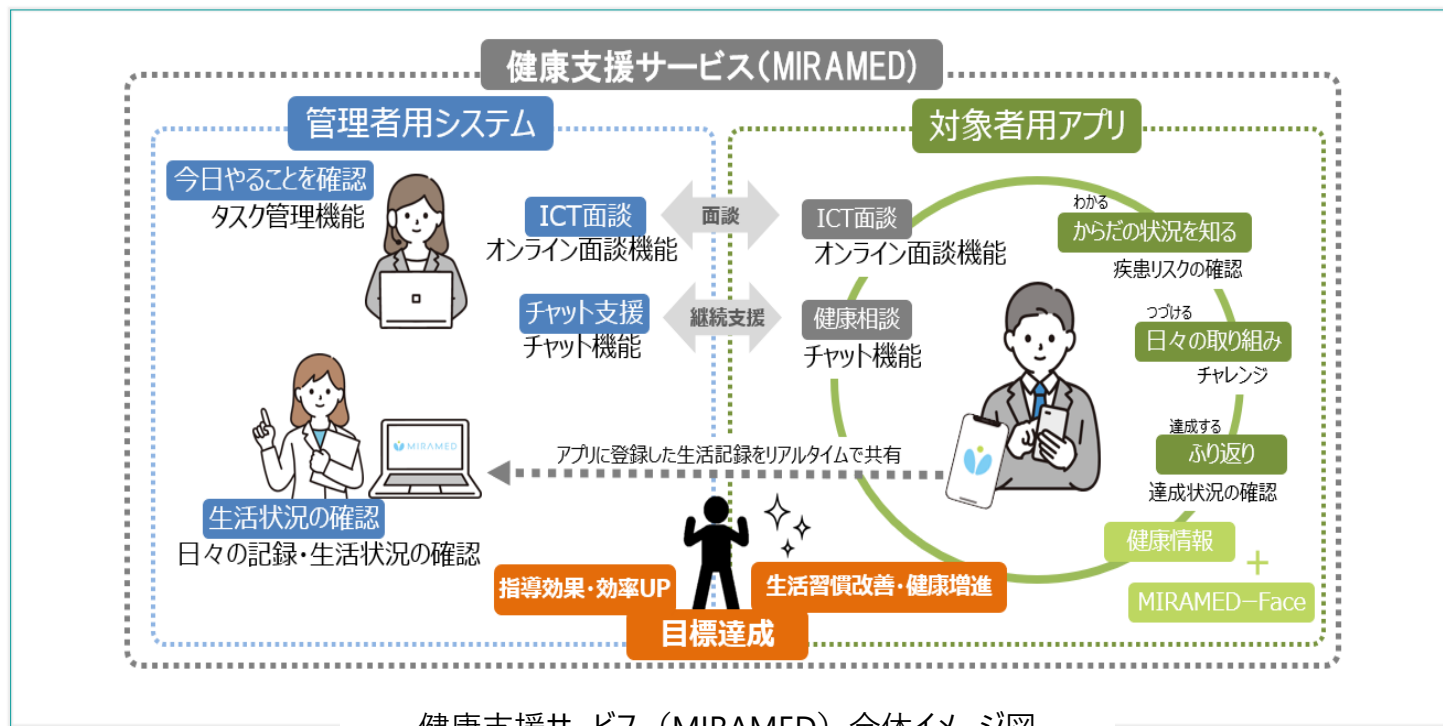
目次

1. 健康支援サービス（MIRAMED）概要
2. MIRAMED×未病指標の実証事業について
3. 期待される将来像

1. 健康支援サービス（MIRAMED）概要

健康支援サービス（MIRAMED）は、保健指導対象者や従業員の行動変容・健康増進をサポートするスマートフォンアプリと、管理者・指導者が効率的かつ効果的に指導を実施できる管理者用システムを合わせた2in1のサービスです。

MIRAMEDは特定保健指導対象者向けに、健康状態を見える化する仕組みやオンライン面談機能などを提供し、行動変容と健康増進をサポートします。また、指導者は、スマートフォンアプリを利用している対象者の生活状況の確認機能やチャット機能などを活用し、脱落を防止することで保健指導の効果を最大化します。



健康支援サービス（MIRAMED）全体イメージ図

1. 健康支援サービス（MIRAMED）概要

スマートフォンアプリの主な機能

✓ 健診結果参照



- 健診結果をいつでも参照できます
- 過去の履歴をいつでも参照できます
- 着目すべき項目を赤字で表示します

✓ 将来リスクの確認



- 健診結果を分かりやすく加工して表示し、対象者の理解と改善意欲を高めます
- わたしのカラダ画面では着目して欲しい臓器を赤色や黄色で表示して可視化します

✓ 毎日チャレンジ



- 利用者にあわせた毎日チャレンジをアプリケーションが提案します
- 栄養・アクティビティ・睡眠・飲酒/喫煙・ストレスの5種類のチャレンジから自分にあったチャレンジを選択できます
- 1週間、1カ月のサマリーが表示されます

✓ 遠隔面談・相談チャット機能



- 予約画面からボタン一つで遠隔面談が受けられます
- チャット機能で気になることを気軽に相談できます
- 画像を添付して送ることが可能です

✓ デバイス連携



- スマートフォンやウェアラブルデバイスから「歩数」や「睡眠情報」を自動得できます

✓ 健康情報



- 東京大学の医師監修による疾患に関する豆知識動画や情報を見ることができます

記載機能について、今後変更となる可能性があります

1. 健康支援サービス（MIRAMED）概要

管理者用システム の主な機能

✓ タスク管理機能



- 指導者の作業タスクを管理することができます
- あらかじめ決められた作業がある場合はタスクパターンを作成することができます

✓ 日々の活動を確認



- 利用者のアプリケーション利用状況を確認できます
- 利用者の体重や血圧の変化をグラフで確認できます

✓ チャット機能



- 対象者のスマートフォンアプリとチャットをすることができます
- 指導例文の登録機能や、ボタン回答機能で効率よく支援ができます
- 未読のチャットがある場合、管理者（指導者）宛にメールで通知される機能があります

✓ 遠隔面談



- 予約一覧から1クリックで対象者と面談につなげることができます
- 遠隔面談中はサイト内で対象者情報を確認しながら、面談できます

✓ 指導記録登録



- 指導記録を登録できます
- 指導記録の登録により、自動的にステータス管理します
- 面談実施状況やポイント取得状況が確認できます

✓ 報告書作成



- 国指定のXMLの作成が可能です
- 国推奨フォーマットの、実施報告書(Excel)を出力できます

記載機能について、今後変更となる可能性があります

2. MIRAMED×未病指標の実証事業について

(1) 目的

神奈川県ブラウザ版未病指標と、企業が保有するヘルスケアサービス等との連携可能性の検討を実証をとおして行い、将来的な未病指標の社会実装の推進につなげていく。

(2) 実証概要

ブラウザ版未病指標と健康支援サービス（MIRAMED）を活用し、指導者によるオンライン面談等を活用して生活習慣の改善指導を実施し、MIRAMED利用前後の状況を未病指標で確認することで組み合わせの有効性を検証する。

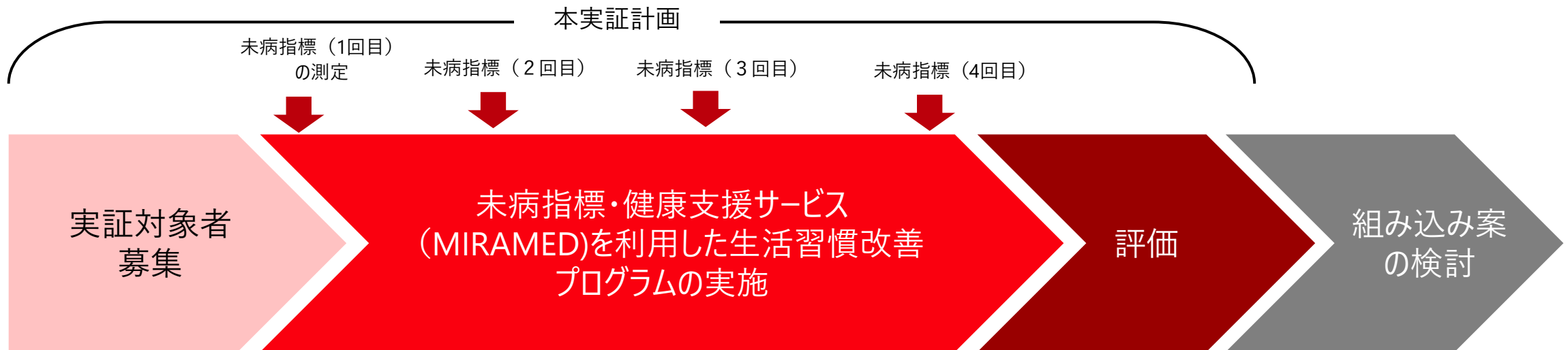
2. MIRAMED×未病指標の実証事業について

(3) 実証計画

神奈川県「ブラウザ版未病指標」と「MIRAMED」を利用し、管理栄養士によるオンライン面談指導またはチャット指導を組み合わせた生活習慣改善プログラムと未病指標の測定を組み合わせる。

各サービスからは以下の情報を取得し、MIRAMEDとの各項目の相関分析・未病指標の有効性の検証を行う。

- 「ブラウザ版未病指標」：4領域（生活習慣・生活機能・認知機能・メンタルヘルス/ストレス）のスコア 等
- MIRAMED：健診結果、バイタルデータ、歩数、チャレンジ達成状況 等



2. MIRAMED×未病指標の実証事業について

(4) 実証方法

項目	内容
利用するサービス	ブラウザ版未病指標、MIRMAED
実証期間	令和7年7月1日～12月31日
実証環境	個人所有または会社貸与のスマートフォンおよびPC
実証内容	ブラウザ版未病指標およびMIRAMEDを利用した生活習慣改善プログラム
保健指導担当者	日立システムズ 管理栄養士免許保有者
参加の同意	Formsによる事前同意

(5) 実証対象者

項目	内容
所属	日立システムズ従業員
年齢	20～60代
性別	男性／女性
実証フィールド	①本社 ②本社別館 ③他拠点
選定条件	20～60代の男女のうち、メタボリックシンドロームのリスク群に該当・非該当者を選定
人数	10～20名

2. MIRAMED×未病指標の実証事業について

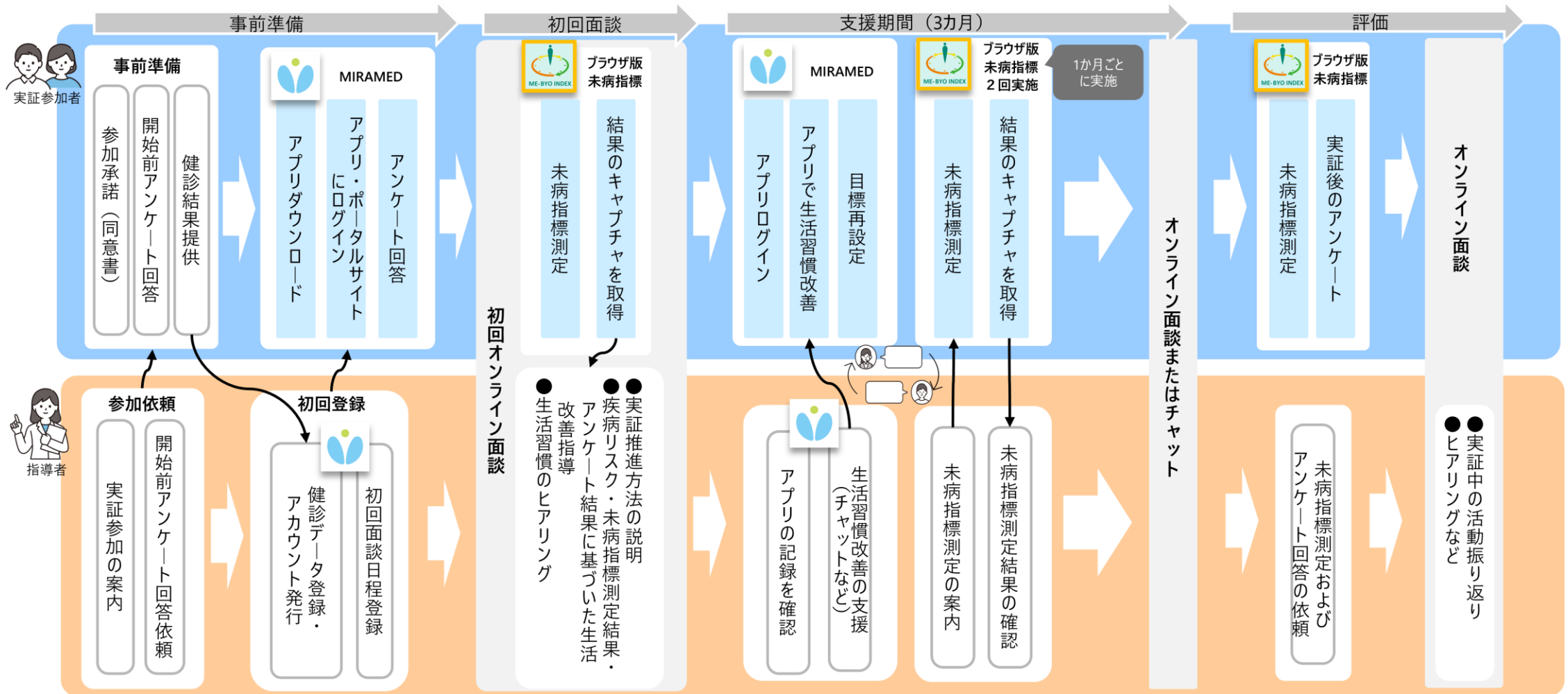
(6) 組み込み画面案

健康支援サービス（MIRAMED）産業保健版のユーザーが利用するポータルサイトのダッシュボード画面に、ブラウザ版未病指標にアクセスできるバナーを表示いたします。



2. MIRAMED×未病指標の実証事業について

(7) 実証の流れ



2. MIRAMED×未病指標の実証事業について

（８）評価の観点（案）

本実証（ブラウザ版未病指標と健康支援サービス（MIRAMED）を組み合わせた保健指導）において以下の点を評価する。

ブラウザ版未病指標	・4領域（生活習慣関連・生活機能関連・認知機能関連・メンタルヘルス/ストレス関連）のスコアの変化 ・未病指標の活用頻度
健康支援サービス（MIRAMED）	・アプリの利用頻度、バイタルデータの変化 ・チャレンジの選択、達成状況の向上
アンケート	<参加者> ・健康関心度（意思・意欲・価値）の変化 ・ユーザー利用満足度、ユーザー体験 <指導者> ・指導のしやすさ、有効性、実証対象者の客観的理解度、改善点

3.期待される将来像

未病指標は比較的若い世代から自身への未病に対する意識を向けていくことができる。また、生活習慣病のリスクを持っている中年世代以上に対しては、専門的な指導と合わせて、未病指標が認識できるようサービスと組み合わせることで、未病状態の早期発見から適切な指導による重症化の予防につなげていける。

1. 未病状態の早期発見と行動変容の促進。

専門的なサービスとの連携による、施策や効果のさらなる拡充。

2. 企業の健康経営の支援ツールとしての活用。

働く本人と、本人を取り巻く環境（介護等）やご家族に対する支援も視野に。

3. からだと心と脳の総合バランスの増進。

4領域(生活習慣・生活機能・認知機能・メンタルヘルス/ストレス)のスコアを活用した総合的な取り組みへ。

4. 職域での保健指導への未病データの活用。

上記2、3を踏まえ、より充実した保健指導が可能となるよう、データ活用を推進。

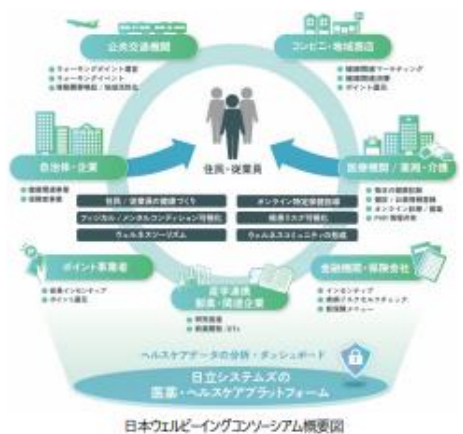
ご参考：日本ウェルビーイングコンソーシアム（JWBC）について



ウェルビーイングの推進を目的に健康、医療サポート、ウェルネスクーリズムの分野で日立システムズ、インテグリティ・ヘルスケア、ANA X、サウイグループホールディングスが日本ウェルビーイングコンソーシアムを設立
健康経営の支援と地域創生をテーマに提案を開始

株式会社日立システムズ（代表取締役 取締役社長：柴原 節男、本社：東京都品川区／以下、日立システムズ）、株式会社インテグリティ・ヘルスケア（代表取締役会長：武藤 真祐、代表取締役社長：園田 愛、本社：東京都中央区／以下、インテグリティ・ヘルスケア）、ANA X 株式会社（代表取締役社長：轟木 一博、本社：東京都中央区／以下、ANA X）、サウイグループホールディングス株式会社（代表取締役社長：澤井 光郎、本社：大阪市淀川区／以下、サウイグループホールディングス）は、日本ウェルビーイングコンソーシアムを設立します。

これにより、住民が健康なまちづくり、従業員が健康な企業づくり、医療サポート、ウェルネスクーリズムを推進し、自治体、健康保険組合、企業等に提案をしていきます。



■各社のアプリケーションについて

	ポイント活用	ポピュレーションアプローチ	ハイリスクアプローチ	
アプリケーション	ANA Pocket	健康支援サービス(健康経営)	SakuDi/Smart One Health	健康支援サービス(MRAMED)
提供元	ANA X株式会社	株式会社日立システムズ	沢井製薬株式会社 株式会社インテグリティ・ヘルスケア	株式会社日立システムズ
主な機能	・移動、サレシジによるポイントが貯まる ・ポイントもANAマイルやクーポン券に交換	・歩数・中絶歩数、運動時間、気分、食事のモニタリング ・睡眠の分析レポート	・日々のバイタルや生活記録することにより、健康を管理 ・日々の生活記録（加齢・食事、歩数、食事、睡眠など）の記録	・健康診断結果とアンケートから生活習慣関連疾患のリスクを表示 ・遠隔医療やチャット機能による保健指導の実施
特長	・移動手段は徒歩・自転車・電車・自動車・タクシー・飛行機など移動手段がわかる ・ポイントはクーポン券への交換、ガチャでマイルへの交換やギフト券や優待券が当たる	・健康経営／健康増進の施策で従業員／住民のウェルファアをサポート ・会社／自治体側では、睡眠のコンディションが確認できる	・日々のバイタルや生活記録をさまざまな機器と自動連携させることで簡単に記録することが可能 ・バイタル、生活記録、睡眠状況、検査データなど本人の同意のもとで医療従事者（医師、薬剤師など）と共有でき、治療・服薬指導に活用可能	・メタボリックシンドロームの対策者のモニタリングと保健指導が促進して連携が期待できる ・サレシジ設定で行動変遷をサポート ・日々の行動の可視化と結果に合わせたレスポンス機能
価格	基本機能は無料	有料	基本機能は無料	有料
画面イメージ				

※すべてのアプリケーションを導入いただく必要はありません。用途によって選択した組み合わせでウェルビーイングを実現します。

■背景

わが国では、平均寿命と健康寿命のギャップにより、国が負担する医療費の増大などが課題になっています。こうした状況を受け、政府は、国民一人ひとりの健康寿命を延伸させるため、予防、健診・検査、診断、治療といった医療提供のサイクルで切れ目のない連携体制を整備し、一次・二次・三次予防の網を張り巡らせようとしています。

しかし、現状では、各サイクルに対する個別サービスは存在するものの、複数のサイクルをまたいだサービスや、保険者、健診・医療機関など複数の事業者に対応するサービス、また、それらから得た医療情報を一元的に管理し、包括的に提供できるサービスは限られている状況です。

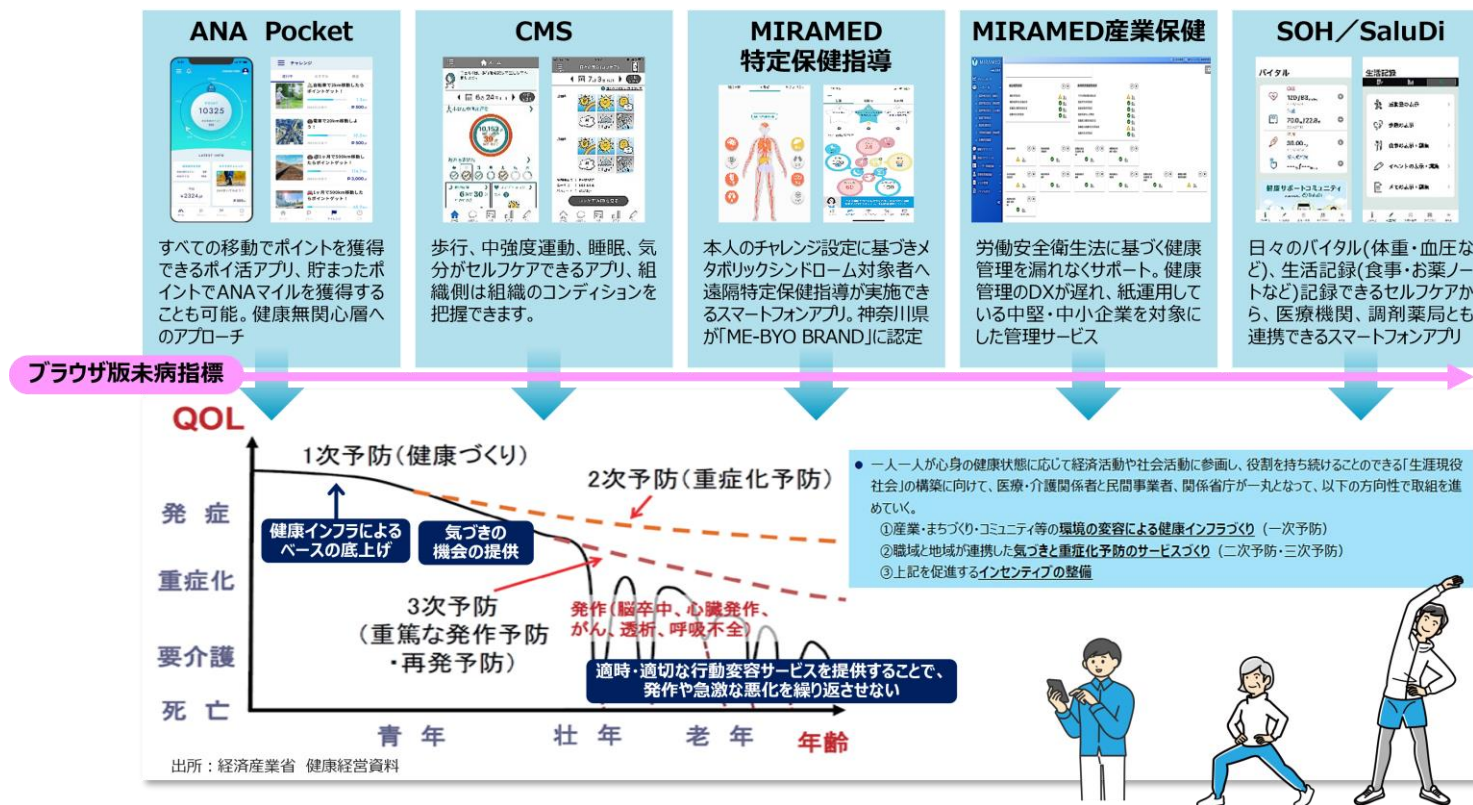
ご参考：JWBCのめざす方向性

HITACHI

企業が保有するQoL向上のための行動変容を促すさまざまなサービスとの連携を可能とし、各サービスのデータや分析結果と連動した幅広い分野での活用方法を検討し、1次予防から3次予防までをワンストップでつなぐサービスを構築し、データ利活用による新たな指標等としての効果を期待している。

1次予防から3次予防までワンストップでサービス提供

日本ウェルビーイングコンソーシアムより



HITACHI